

2018年度 第2回10月京大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

①「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。

② 下線の付け忘れは1点減点。

③ 指定用語不使用は1点減点。

④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「②(①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

I

問(1) 各2点

○糸魚川・静岡構造線 (「・」の有無や種類は不問)

※「静岡・糸魚川構造線」は△1点 「フォッサマグナ」は×

○中央構造線／メディアライン／メジアンライン

問(2)① 1点 扇状地

問(2)② 5点

砂礫が堆積し、水はけのよい扇央は桑畑として、扇端の湧水を利用できる低湿地は水田として利用されている。(50字)

【加点ポイント】(5点を超えない)

①扇央は 水はけが良い／地下水面が低い／水が得にくい／川が伏流している →1点

②扇央は 桑畑として利用 →1点

③扇端は 湧水を利用できる／伏流水が出てくる →2点

※「扇端は、水を得やすい／湿地である」のみ →1点

④扇端は 水田／田／稲作 として利用 →1点

⑤扇頂は 川の水が得られる／川が伏流する前である →1点

⑥扇頂は 水田／田／稲作 として利用 →1点

問(3)① 1点 製糸業

問(3)② 3点

諏訪湖から流出する天竜川の水力を利用して大型の繰糸機を動かすため。

【加点ポイント】

★問(3)①で「製糸業」を正解していることが加点の前提

①水力／水車を利用 →2点 ※「水力発電」では加点しない

②(①により)繰糸機を動かす／生糸(繭から糸)を巻き取る機械を動かす →1点

問(3)③ 2点

若年の女性が占める割合が高かった。

【加点ポイント】

①若年の女性／10代～20代の女性 の割合が多かった →2点

※「女性の割合が多かった」のみ →1点

問(4)① 3点

金属や機械工業の中小企業が多く、工場と住宅地が混在して分布している。(34字)

【加点ポイント】

①(工業種として) 金属／機械／精密機械／一般機械／電気機械 が多い →1点

②(工場の規模として) 中小企業(9人以下の工場) が多い／大きな工場は少ない →1点

③(工場の分布として) 工場と住宅地が混在／住宅地(市街地)の中に工場が点在 }
／扇状地の様々な場所に工場が立地 } →1点

問(4)② 3点

中央自動車道が通り、東京・名古屋と結ばれている。

【加点ポイント】

①中央自動車道／高速道路 が通っている →2点

②東京／名古屋／首都圏／大消費地 と結ばれている →1点

※①②を合わせて「交通の便が良い」のみ →1点

問(5) 3点

山体崩壊で生じた土砂や流木が大量の雨水を含んで谷を流下する。(30字)

【加点ポイント】

①(豪雨により) 山体崩壊／山崩れ／土砂崩れ／地すべり が生じる →1点

②土砂(流木／倒木／岩塊)と水(雨水)と一緒に流下する }
／大量の土砂と雨水が斜面(谷)を流れ落ちる } →2点
／川の水が大量の土砂と一緒に一気に流れてくる }

Ⅱ

問(1)① 1点 水力発電／水力

問(1)② 2点

国土の大部分が氷食を受けた山地で有効な落差のある河川が多く、その流量は偏西風のもたらす地形性の降雨により豊富であるため。(60字)

【加点ポイント】

★問(1)①で「水力発電」を正解していることが加点の前提

①山地が多い／山がちな地形／落差のある川が多い／急流を持つ川が多い } →1点
／U字谷（フィヨルド）の崖の落差を利用できる

②偏西風が降雨をもたらす →1点

問(2)① 1点 風力発電／風力

問(2)② 2点

年中偏西風が吹くうえ、国土が平坦で風を遮るものが少ないから。(30字)

【加点ポイント】

★問(2)①で「風力発電」を正解していることが加点の前提

①偏西風が吹く →1点

②国土が平坦／偏西風を遮る山が少ない →1点

問(3)① 1点 地熱発電／地熱

問(3)② 2点

プレート境界やその周辺に位置し、火山活動が活発であること。(29字)

【加点ポイント】

★問(3)①で「地熱発電」を正解していることが加点の前提

①火山活動が活発／火山が存在する →1点

②プレート境界に位置する →1点

※「狭まる境界／広がる境界／ずれる境界」のいずれかに限定 →加点しない

問(3)③ 2点

プレートの狭まる境界やずれる境界の周辺に位置する他国と違い、アイスランドは広がる境界の大西洋中央海嶺上に位置している。(59字)

【加点ポイント】

★問(3)①で「地熱発電」を正解していることが加点の前提

①アイスランドは、広がる境界／大西洋中央海嶺（中央海嶺）に位置している →1点

②他国は、狭まる境界／ずれる境界に位置している →1点

問(4) 各1点

ア：原子力発電／原子力 ウ：火力発電／火力 カ：太陽光発電／太陽光

問(5) 2点

日本での発電適地は国立公園内に多いため、環境・景観の保全や温泉観光業への影響などの課題があるから。(49字)

【加点ポイント】

★問(3)①で「地熱発電」を正解していることが加点の前提

① (地熱発電の適地は) 国立公園／国定公園内に多い →1点

② (①内の開発は) 環境／景観／観光／温泉／旅館組合／開発規制
の課題 (影響・反対) がある →1点

問(6) 各1点

A：中国／中華人民共和国 B：アメリカ合衆国／アメリカ C：インド

D：ロシア／ロシア連邦 E：カナダ F：ドイツ／ドイツ連邦共和国

G：ブラジル／ブラジル連邦共和国 H：フランス／フランス共和国

I：韓国／大韓民国

Ⅳ

問(1)① 1点 B

問(1)② 3点

荒廃した都心が再開発を受けて再び高級化し、富裕層が流入する。(30字)

【加点ポイント】(問(1)①の可否は問わない)

① (都心を／都市の居住地域を) 再開発する →1点

② (①により) 高級化する／地価が上がる／高層マンションが建築される →1点

③ (①②により) 富裕層が流入する／低所得者層が住めなくなる →1点

問(2)① 1点 C

問(2)② 3点

郊外の農地や緑地の中に、住宅地や工場が虫食い状に開発される。(30字)

【加点ポイント】(問(2)①の可否は問わない)

① (スプロール現象が起こる場所として) 郊外／都市周辺部 →1点

② (①に) 住宅地／都市施設／工場／商業施設 が開発 (建設) される →1点

③ (②の状況として) 虫食 (喰) い状／無秩序／無計画 →1点

問(7) 4点

Iでは沖積平野で河川水による灌漑が、IIでは斜面を棚田にして天水耕作が行われる。

(39字)

【加点ポイント】

- ① (Iの地形として) 沖積平野／平野 →1点
- ② (Iの稲作形態として) 河川水による灌漑／川 (メコン川) の水を利用 →1点
 ※川の名称違い→加点なし
- ③ (IIの地形として) 棚田／斜面を階段状に利用 →1点
- ④ (IIの稲作形態として) 天水耕作／雨水だけを利用／灌漑なし →1点

問(8) 4点

生育期間が短いため多期作が可能であり、稲丈が低いため高収量でも倒れにくい。(37字)

【加点ポイント】

- ① (生育期間が短いため) 多期作が可能／二期作ができる／一年に何度も作れる →2点
- ② (稲丈が低いため) 倒れにくい／風に強い →2点